

親子農業体験

作り育てる喜びを伝える

JAは5月24日、赤城西麓土地改良区と利根保健生活協同組合と協力し、利根町の笛田農園で今年度1回目となる「親子農業体験」を開きました。小学生以下の子どもを持つ親子17組43人が参加。トウモロコシとエダマメの種まき、二十日大根と小松菜の収穫を体験しました。

次回は8月、自分たちで種まきをしたトウモロコシとエダマメの収穫などを体験する予定です。



収穫体験を行う参加者

生産者意見交換会

集荷所新施設に向け意見交換会

JAは、5月に新集荷所施設に関する意見交換会を4カ所で行い、赤城根・久呂保・糸之瀬地区の生産者が参加しました。施設の老朽化による修繕費の増加もあり、効率的な集荷体制を確保することが目的。参加した生産者からは、新集荷所の建設予定地や荷下ろしについてなど様々な意見が出され、活発な意見交換が行われました。



生産者に説明する綿貫常務

JA利根沼田レタス部会

レタスの合同目ぞろえ会を開催

JA利根沼田レタス部会は4月23日、昭和村の糸之瀬予冷庫で初となる合同目ぞろえ会を開催し、部会員や関係者を含む49人が参加しました。目ぞろえでは出荷規格の確認や農業事務所による病害虫対策が行われ最盛期に備えました。4月上旬に出荷が始まり、10月上旬まで続く予定です。



目ぞろえを行う部会員

JA利根沼田×ファミマ×全農

ファミマ加盟店オーナーが収穫体験

JAは5月18日、ファミリーマート・全農と連携しレタスの収穫体験を行い、20人が参加しました。寒暖差を利用した朝採りレタスは新鮮でえぐみが無く甘みが増すことが特徴。「赤城高原レタスを使ったレタスミックス」は一部地域を除く東北、関東地方のファミリーマートで5月27日より販売しております。



収穫方法を教わる加盟店オーナー

沼田さくらんぼ組合

ミツバチに代わって授粉体験

沼田さくらんぼ組合は4月25日、利南幼稚園と薄根幼稚園の園児4人を招き、沼須町のあざみ園（原田農園）でサクランボの授粉体験会を開きました。園児らは棒状のハタキを手に、「おいしくなれ！」と元気に授粉作業を行いました。

サクランボ園は例年通り6月上旬の開園を予定。今年は凍霜害もなく、豊作が期待されます。



ハタキで授粉する園児たち

アシストホール沼田

人形供養祭執り行われる

4月27日、JA利根沼田アシストホール沼田で人形供養祭が執り行われました。

358人の申込者より日本人形やぬいぐるみ等、約2,500体が持ち込まれました。供養は沼田市上川田町の砥石神社の宮司が祝詞を上げました。その後、参列者が玉串をささげ人形へ別れを告げました。

また会場では抽選会などが行われ、子どもから大人まで多くの来場者で賑わいました。



人形供養祭の様子